

## 芸術工学府における研究計画及び研究指導計画書に関する取扱要領

令和4年3月9日  
学務専門委員会決定

九州大学大学院通則第18条の3第1項に基づく研究指導の方法及び内容並びに1年間の研究指導の計画を明示するために作成する研究指導計画書（以下「計画書」という。）について、芸術工学府においては、「九州大学大学院学生に係る研究指導計画書に関する申合せ」（以下「申合せ」という。）に定めるもののほか、次のとおり取扱い体系的な研究指導を行う。

- 1 芸術工学府における計画書の作成対象学生は修士課程全学生及び博士後期課程新入生とし、提出期限については、次のとおりとする。提出期限までに計画書の提出ができないと見込まれる場合、指導教員（原則として主指導教員を指すが、必要に応じて副指導教員を含む。以下同じ。）は、速やかに、その旨及び提出可能な時期の目処を、芸術工学部学務課教務係に連絡する。

対象学生	提出期限
4月入学者	5月末日
10月入学者	11月末日

- 2 計画書の作成手順は、申合せ第2に定めるとおりとする。
- 3 計画書の提出方法については、芸術工学部学務課教務係から、別途各指導教員に対し連絡する。

### 【提出方法】

- ア. 教務係から各指導教員あてにメールにて計画書作成依頼
  - イ. 各指導教員と学生で計画書を Word ファイルで作成し、指導教員から教務係あてにメール添付にて提出
  - ウ. 教務係にて Word ファイルを保管
- 4 計画書の見直しが行われた場合、見直し後の計画書については、指導教員が芸術工学部学務課教務係を経由して、速やかに芸術工学府長に提出する。
  - 5 芸術工学府長宛てに提出された計画書は、学生の修了または退学した年度の次の年度の4月1日から5年間、芸術工学部学務課教務係において保存する。

○標準的な研究指導のスケジュール（4月入学者の場合）

	4月～5月	5月～	1月～3月
修士1年	指導教員面談 計画書作成 研究倫理教育受講	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加・進捗 状況報告会など	中間発表会準備 中間発表会(専攻)
修士2年	指導教員面談 計画書作成	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加など 中間発表会(コース) 修士論文(作品)作成	修士論文(作品)提出 修士論文発表会
博士1年	指導教員面談 計画書作成 (研究倫理教育受講)	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加・進捗 状況報告会など	研究経過報告書提出
博士2年	指導教員面談	ゼミ・スタジオ参加 審査論文投稿など	研究経過報告書提出
博士3年	指導教員面談	ゼミ・スタジオ参加 学位論文作成 学位申請(10月)予備審査 本論文提出(12月)	公開発表会

○標準的な研究指導のスケジュール（10月入学者の場合）

	10月～11月	11月～	7月～9月
修士1年	指導教員面談 計画書作成 研究倫理教育受講	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加・進捗 状況報告会など	中間発表会準備 中間発表会(専攻)
修士2年	指導教員面談 計画書作成	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加など 中間発表会(コース) 修士論文(作品)作成	修士論文(作品)提出 修士論文発表会
博士1年	指導教員面談 計画書作成 (研究倫理教育受講)	ゼミ・スタジオ参加 学会発表・コンペ参加・進捗 状況報告会など	研究経過報告書提出
博士2年	指導教員面談	ゼミ・スタジオ参加 審査論文投稿など	研究経過報告書提出
博士3年	指導教員面談	ゼミ・スタジオ参加 学位論文作成 学位申請(4月)予備審査 本論文提出(6月)	公開発表会

○研究計画記入内容の例（修士課程・4月入学者の場合）

1年次4月～5月：研究計画の立案、研究倫理教育の受講

- ・指導教員と相談し、設定した研究課題に関する研究計画を立案する
- ・学会発表・コンペ参加なども計画しておく。

1年次5月～3月：研究の遂行、1年次の研究成果の中間発表

- ・研究計画に従って研究を遂行する。学会発表・コンペ参加なども行う。
- ・1年次では、主に予備的な実験や調査を行い研究方法の確立を図ることが想定される。
- ・ここまでの成果と今後の予定について、専攻内(コース横断)の発表会で報告する。

2年次4月～5月：研究計画の修正

- ・発表会の結果を受けて指導教員と相談し、研究課題・計画を確認・修正する。
- ・学会発表・コンペ参加なども計画しておく。

2年次5月～1月：研究の遂行、修士論文の作成

- ・研究計画に従って研究を遂行する。学会発表・コンペ参加なども行う。
- ・2年次では、確立した研究方法によりデータ収集・解析等を進め、目的を再確認しながら結論を導くことが想定される。
- ・コース内の中間発表会で研究成果を報告し、修士論文に反映する。

2年次1～2月：修士論文の提出・発表

修士論文を提出し、発表会で論文の内容を発表する。

○研究指導計画の記入内容の例（修士課程・4月入学者の場合）

1年次4月～5月：研究課題設定・研究計画の立案指導

- ・学生の研究課題設定・研究計画立案について指導する。
- ・学会発表やコンペ参加計画について助言を行う。

1年次5月～3月：研究の指導、中間発表会準備の指導

- ・ゼミ・スタジオ等で学生が実施している研究の進行を随時確認し、進捗状況に応じた指導を行う。
- ・研究倫理委員会での審査を必要とする場合は、その手続きの指導を行う。
- ・専攻内の発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。

2年次4月～5月：研究成果の中間発表を受けての指導、研究計画の修正指導

- ・専攻内の発表会におけるコメントなどについて対応を指導し、研究課題・計画の確認・修正指導を行う。
- ・学会発表やコンペ参加計画について助言を行う。

2年次5月～1月：研究の指導、修士論文作成の指導

- ・ゼミ・スタジオ等で学生が実施している研究の進行を随時確認し、進捗状況に応じた指導を行う。
- ・研究倫理委員会での審査を必要とする場合は、その手続きの指導を行う。
- ・コース内の中間発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。
- ・修士論文の構成やまとめ方について指導する。

2年次1～2月：修士論文の提出・発表

修士論文を提出できるよう指導し、発表会に向けてプレゼンテーション内容等について指導する。

## 研究計画及び研究指導計画書（修士1年記入例）

2022年5月20日作成

年 月 日更新

学生番号	2DS99999		
学生氏名			
入学年月	2022年4月	学年	修士1年
専攻・コース	芸術工学専攻・環境設計コース		
研究題目	都市における公園の利用と周辺施設の関係		
主指導教員名：	副指導教員名： 指導補助教員名：		
<p>研究計画 （研究目的、概要、学会発表、論文作成等を学生が記入） 都市環境における公園の機能、魅力や雰囲気や周辺の施設による情報や空間の集積等による特徴の重なりとして考え、利用者の行為観察および公園の周辺施設の調査から、公園と周辺施設との関係を明らかにすることを目的とする。当初は警固公園を対象として手法について検討する。研究成果は芸術工学会、日本建築学会等で発表する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 研究倫理教育の修了証番号：AP0000871930（受講日：2022年4月28日） 教員確認 2022年5月15日</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今年度履修予定科目 教員確認 2022年5月15日</p>			
<p>研究指導計画 （研究計画を踏まえ、当該学生の指導方法、内容、計画等を指導教員が記入） 観察調査および分析について、週1回程度のゼミで研究の進行を随時確認し、進捗状況に応じた指導を行う。警固公園における結果がまとまった段階で、対象を広げるか詳細調査を行うかを相談する予定とする。 ひとまず夏までに調査した結果を元に、9月に芸術工学会の大会発表に投稿する予定で進め、11月の発表に向けてプレゼンテーションの指導を行う。秋頃の調査・分析については12月に日本建築学会の九州支部研究発表会に投稿する予定で進め、3月の発表に向けてプレゼンテーションの指導を行う。 その後、専攻内の発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生確認 2022年5月20日</p>			
特記事項			

※研究指導教員と学生が、相談・打ち合わせの上、本計画書を作成してください。

※研究の進捗状況等に応じて、計画の見直しを行うことができます。

※研究倫理教育は3年毎の受講が必要です。